

IP-KVM スイッチで番組自動運行システムの リモートアクセスを実現

ATEN IP-KVM ソリューションで理想の環境が実現

導入先

KBS京都

所在地： 〒602-8588

京都市上京区烏丸通一条下ル龍前町 600 番地の 1

事業： テレビ・ラジオ放送

URL： <https://www.kbs-kyoto.co.jp/>



株式会社京都放送(以下、KBS 京都)は 1951 年にラジオ局として開局。1965 年には、西日本初のオールナイト「KBS 深夜放送」を開始。1975 年には、国内初のテレソン番組「まり子のチャリティテレソン」を放送。1981 年、現天皇・皇后両陛下がご来訪。KBS 京都放送会館をご見学される。

テレビ番組においては、地域情報生ワイド番組や「祇園祭山鉾巡行中継」、「京都五山送り火中継」他、BS 局との共同制作などを手掛けている。

なお、テレビは全国独立放送局協議会、ラジオは全国ラジオネットワーク(NRN)に加盟している。

背景

日々の番組進行に際してスケジュールを管理する「番組自動運行システム」は重要な役割を担っており、社内の特定期間でしか閲覧できない為、中継先や、送信所等の遠隔で確認する場合は、ディレクターや作業担当者が電話で確認していた。その為、効率化として「番組自動運行システム」を遠隔から閲覧したいとの要望があった。

要件・課題

- ・インターネット・モバイル端末を使用して遠隔で作業が行える環境が必要であったが、光回線ではコストが高く費用対効果が見込めないため、導入が難しい現状があった。
- ・コストを抑えリモートアクセスを実現できるソリューションが必要
- ・リモートアクセスとして持ち運びのできるタブレットを利用したい

ATEN ソリューション

KN4116VA

1 ローカル/4 リモート

アクセス 16 ポート

カテゴリ 5e IP-KVM スイッチ

(バーチャルメディア対応、1920×1200)



KA7170

USB VGA コンピューター

モジュール

(SUN コンポジットビデオ対応)



KA7166

USB DVI コンピューター

モジュール

(バーチャルメディア・スマートカード対応)

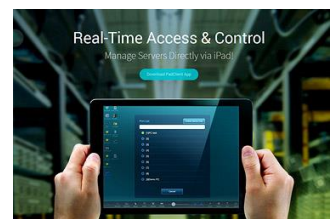


ATEN PadClient

専用アプリを使用して

リアルタイムアクセス

リアルタイムコントロール



- ・インターネット回線経由にて番組自動運行システムのサーバにほぼ遅延無くアクセスが可能
- ・専用オプションの Pad Client を利用する事により iPad からリモートアクセスが可能
- ・リモートから最大 4 名のユーザが同時に番組自動運行システムにアクセスして閲覧が可能
- ・最大 1,920 × 1,200 @ 60Hz の高解像度表示が可能

使用場面



実際に組み込まれているラック



中継車



遠隔地からの監視の様子



Pad Client を利用して
番組自動運行システムを確認

感想・今後の展開

遠隔地からも視聴が可能となった事で業務効率の向上に繋がる

「関西放送機器展で ATEN ブースを訪れ IP-KVM が利用できるのではないかと検討を
始めました。デモに来てもらい実機の動作を確認し、遅延無く業務で利用できることを確認し
今回導入を決定。IP-KVM を利用し番組自動運行システムにリモートアクセスする事が出来
るようになったことによりインターネット環境があれば、どこからでも運行状況を確認する事
ができ、業務の利便性が向上しました。また、送信所での保守点検にてリモートから画面を
目視確認する事が可能となり、作業場の安全性向上にも繋がっています。今後 ATEN 社に
は、ON AIR の動画データ等もリモートから閲覧できるようになるとより用途が広がります
ので期待しています。」



左：放送技術局 技術管理部
部長 山本 尚昭様
右：放送技術局 技術管理部
原田 剛夫様